

事務事業マネージメントシート

作成日 平成28年05月12日

事務事業名	真岡市小学校陸上記録会交付金				担当	教育委員会 学校教育課 総務係							
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり					電話番号	0285-83-8181					
施策名	2	小・中学校の教育の充実					<input type="checkbox"/>	実施計画上の主要事業					
基本事業名							事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			年度～年度		
法令根拠	真岡市補助金等交付規則							<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S38 年度～)					
予算科目	1.一般会計	10.教育費	2.小学校費	2.教育振興費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度～ 年度)								
事業概要	小学校児童の運動能力と体位の向上を目的として、毎年開催される小学校陸上記録会の運営費を、交付金として支出する。 交付額194,400円												

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 27年度実績 真岡市陸上記録会実施のため、交付金を支出した。 交付の流れ：申請 受付 決定 交付	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
28年度計画 昨年度と同様	ア 交付金額	千円	195	195	195	195	195
	イ						
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 小学校体育研究会陸上部	ウ						
	エ						
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 陸上記録会が円滑に実施される	オ						
	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 小学校児童の体力、運動能力の向上	名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
	ア 記録会の参加児童数(延べ)	人	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
⑤事業費の推移	イ 記録会の教員数	人	80	80	80	80	80
	ウ						
⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移	エ						
	オ						
⑦上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移	名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
	ア 大会の種目数	種目	28	28	28	28	28
⑧トータルコスト(A)+(B)	イ 計画通り実施されたと思う教員の割合	%	100	100	100	100	100
	ウ						
⑨人件費の推移	エ						
	オ						
(2) 総事業費の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	財源内訳	県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	195	195	195	195
		事業費計(A)	千円	195	195	195	195
人 件 費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1
	延べ業務時間	時間		10	10	10	10
	人件費計(B)	千円		42	41	42	42
⑩トータルコスト(A)+(B)		千円	237	236	237	237	237
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
⑪この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？		小学校児童の体力、運動能力向上のために記録会を開催することとなり、実施に必要な費用を市費から出すこととなった。					
⑫事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		小学校児童が、種目参加でのべ約1,200人参加している。芳賀都市小・中学校体育連盟の陸上記録会とは別に開催している。平成27年度から総合運動公園陸上競技場を利用できるようになり、児童の意欲が向上していることをはじめ、スムーズな協議会運営につながっている。					
⑬この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？							

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 学校教育の中で、小学校児童の体力向上を目的として開催している。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 学校教育の一環である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 陸上記録会を通して、児童の運動能力、体力の向上が図られている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 陸上記録会を通して、児童の運動能力、体力の向上が図られている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 児童にとって、陸上記録会はさらに自分の能力を発揮できる場であり、教育的な効果が期待できる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 運営に必要交付金であり、これ以上削減できない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 交付金を支出するため、申請・請求書の処理をするための必要最小限の事務であり、これ以上は削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市内の全小学校、全児童を対象とした事業を実施しているため、公平・公正な補助事業であると言える。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 繼続	(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																									
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																									